

第5回在宅医療ケア勉強会アンケート報告

日時：H29年10月27日（金）16：30～17：30

場所：デイケアほほえみ フロアー内

参加者：37人（医師1人、ケアマネ20人、訪問看護11人、介護施設1人、看護学生2人、その他2人）

内容：『癌末期の在宅医療』

講師：井上内科クリニック 医師 草田 典子 先生



●参加者の感想

- ・ 医師の視点での多職種連携と考え方を学ぶことが出来ました。
症例が沢山あり、とても分かり易かったです。リアルな在宅療養を知ることが出来ました。
- ・ 看取りへのイメージ（怖い感）が少し軽減しました。
- ・ とにかく沢山の症例の話が良かったです。
- ・ 医師との連携に対しての壁は正直感じながら仕事をしていました。医療機関との連携、研修会など積極的に参加したい。
- ・ 本人はもちろん、傍で看ている家族のことも支えていくケアが必要であることを改めて思った。
諦めずに、まずやってみること、チームで支援させて頂くことが大切だと思った。
- ・ 在宅で死を迎えるのに、家族の覚悟をどう作り上げるのか、ケアマネにも出来る事があると感じました。
- ・ 自宅で看取られた利用者様は、いつまでも心に残ります。
ほぼ全員、ご家族は「良かった。これで良かった。」と言われ、自分自身も満足感が残ります。
在宅での看取りは大変だけど、大切なものだと感じています。
- ・ 看取りについて考える機会がなかなかないため、とても勉強になりました。
家族へ最期どのような経過を辿っていくかの理解が大切だと知り、訪看の関わりの重要性を感じました。（看護学生）